

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門課程	経営情報科	夜・通信	22	13	
	情報デザイン科 先端ITコース	夜・通信	57	13	
	情報デザイン科 ビジネスITコース	夜・通信	57	13	
	高度情報システム科	夜・通信	20	10	
	情報システム科	夜・通信	19	7	
商業実務専門課程	医療事務・美容ビジネス科(1年生) 【医療福祉ビジネス科(2年生)】	夜・通信	57 【1, 170 時間】	7 【160 時間】	
	総合ビジネス科	夜・通信	38	7	
	ペットビジネス科 トリマーコース	夜・通信	87	7	
	愛玩動物看護科	夜・通信	99	10	
	キャリアデザイン科 システム系	夜・通信	5	4	
	キャリアデザイン科 簿記・ビジネス系	夜・通信	18	4	
	キャリアデザイン科 医療事務系	夜・通信	31	4	
	キャリアデザイン科 トリマー系	夜・通信	43	4	
(備考) ・2026年度 新設学科 ①情報デザイン科 先端ITコース ②情報デザイン科 ビジネスITコース ③高度情報システム科 ・2026年度 科の名称変更 ①「医療福祉ビジネス科」から「医療事務・美容ビジネス科」へ科名変更。 2026年度在籍の医療福祉ビジネス科2年生は科名の変更はなし。 ②「ビジネス専攻科」から「キャリアデザイン科」へ科名変更。1年課程の為2年生は無し。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)
特になし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	裏千家茶道教授	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
非常勤	元私立幼稚園教諭	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
非常勤	元私立幼稚園教諭	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
非常勤	税理士	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)											
授業計画(シラバス)を作成するにあたり、教務部・担当教員を中心に「授業計画(シラバス)作成ガイドライン」を定め、ガイドラインに沿って作成している。 授業計画(シラバス)は毎年度、期末に見直しを実施し内容を更新している。また、授業計画は毎年度更新したものを本校のホームページ上に掲載、公開し閲覧可能な状態にする。											
授業計画書の公表方法	https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/										
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)											
●成績評価については学則及び学生便覧に定めている ◇学則第8条4項 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ●学生便覧 ■成績評価基準 各教科とも総合的な評価により、A、B、C、Dの評価を行う。単位認定は、C以上とする。 1. 評価は科目試験、出席率、授業態度、検定取得状況、課題・レポート状況などにより総合的に評価する。 2. 評価はA、B、C、Dの4段階とする。 3. 評価基準は次の基準に従って評価し、A～Cの評価のものについてのみ、その科目の修得認定を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>基 準</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td><td>80点以上 (優) 科目に対する理解及び日常の授業態度が特に優秀である</td></tr> <tr> <td>B</td><td>60点以上 (良) 科目に対する理解及び日常の授業態度が良好である</td></tr> <tr> <td>C</td><td>40点以上 (可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が普通である</td></tr> <tr> <td>D</td><td>40点未満 (不可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が劣る</td></tr> </tbody> </table> 4. 実習等の授業科目(点数が明確につかないもの)においては、レポート提出状況、実習態度、出席率、成果(達成目標)を総合的に判断し評価する。		評価	基 準	A	80点以上 (優) 科目に対する理解及び日常の授業態度が特に優秀である	B	60点以上 (良) 科目に対する理解及び日常の授業態度が良好である	C	40点以上 (可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が普通である	D	40点未満 (不可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が劣る
評価	基 準										
A	80点以上 (優) 科目に対する理解及び日常の授業態度が特に優秀である										
B	60点以上 (良) 科目に対する理解及び日常の授業態度が良好である										
C	40点以上 (可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が普通である										
D	40点未満 (不可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が劣る										

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

■成績評価とGPAポイント

成績評価	内容	GPAポイント
A	認定	3.0
B		2.0
C		1.0
D	単位不認定	0

※成績評価は原則として科目ごと、その終了時に評価する。ただし、再試験等により評価しなおすことがある。また、同一名称であっても、末尾に1・2または、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。

■GPAの算出方法

個々の授業科目についての成績評価に、それぞれにGPAポイントを設定し「各科目の単位数×GPAポイント」の和を「履修単位数合計」で除して算出したものがGPAになる。

※各成績評価に対応するGPAポイントは上表を参照する。

<GPA算式>

$$GPA = \frac{(3 \times A \text{ 評価単位数} + 2 \times B \text{ 評価単位数} + 1 \times C \text{ 評価単位数})}{\text{履修単位数合計 (D評価で不認定になった単位数も含む)}}$$

学科、コースにより受講科目数や授業時間数、実習授業の割合が異なっている場合でも、測定する指標とします。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

●卒業認定・専門士の称号に関する方針 ディプロマ・ポリシー

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育方針に掲げる「現代社会の要請、特に地元産業界のニーズに合った人材育成」を目標に、実社会で要請され、すぐに役立つ資格・能力・知識を身につけると同時に一般教養とマナーを身につけ、明るく健康で建設的な意志を持つと認められる学生に対し、卒業を認定し専門士を授与します。

令和8年4月1日以降、「専門士」の称号は、次の基準を満たし特定専門課程として認定された課程を修了した者に付与されます。

1. 修業年限が2年以上であること
2. 課程の修了に必要な単位数が通算62単位以上であること
3. 試験等による成績評価を行い、その評価に基づき課程修了を認定していること
4. 文部科学省が定める特定専門課程の基準（教育課程編成、質保証、外部評価等）に適合していること

以上の要件を満たす特定専門課程を修了した者は、卒業と同時に「専門士」の称号を称することができます。

●卒業認定及び卒業基準については学則及び学生便覧に定めている

◇学則第8条

(教育課程及び単位数)

第8条 本校の教育課程及び単位数は、別表1のとおりとする。

- 2 本校の各授業科目の単位数は、次の各号に定める時間の授業をもって1単位とし、単位数を計算するものとする。

- (1) 講義 30時間
- (2) 演習 30時間
- (3) 実験、実習及び実技 30時間

- 3 別表1に定める学科の卒業までに履修する単位数は経営情報科・情報デザイン科にあつては124単位(1単位30時間)、情報システム科・医療事務・美容ビジネス科・総合ビジネス科・ペットビジネス科トリマーコースにあつては62単位(1単位30時間)、高度情報システム科・愛玩動物看護科にあつては96単位(1単位30時間)、キャリアデザイン科にあつては31単位(1単位30時間)とする。

◇学則第16条

(卒業)

第15条 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。

- 2 前項により、工業専門課程の経営情報科・情報システム科を修了した者には専門士(工業専門課程)の称号を授与、また、商業実務専門課程の総合ビジネス科・医療事務・美容ビジネス科・ペットビジネス科トリマーコース・愛玩動物看護科を修了した者には、専門士(商業実務専門課程)の称号を授与する。

●学生便覧

卒業は卒業認定会議を経て学校長が認定する。なおかつ、以下の基準を満たすものとする。

〈卒業基準〉

【2026年度入学生以降】

修業年限	学科名	科目単位	検定単位	学費
1年	キャリアデザイン科	31単位	2単位	納入済み
2年	情報システム科	62単位	4単位	納入済み
	医療事務・美容ビジネス科	62単位	4単位	納入済み
	総合ビジネス科	62単位	4単位	納入済み
	ペットビジネス科 トリマーコース	62単位	4単位	納入済み
3年	高度情報システム科	96単位	4単位	納入済み
	愛玩動物看護科	96単位	4単位	納入済み
4年	経営情報科	124単位	4単位	納入済み
	情報デザイン科 先端ITコース	124単位	4単位	納入済み
	情報デザイン科 ビジネスITコース	124単位	4単位	納入済み

【2025年度入学生以前】

修業年限	学科名	出席時限数	科目単位	検定単位	学費
2年	情報システム科	850	62単位	4単位	納入済み
	医療福祉ビジネス科	850	62単位	4単位	納入済み
	総合ビジネス科	850	62単位	4単位	納入済み
	ペットビジネス科 トリマーコース	850	62単位	4単位	納入済み
3年	愛玩動物看護科	1200	96単位	4単位	納入済み
4年	経営情報科	1600	124単位	4単位	納入済み

※卒業基準に基づき、本校の課程を修了したことを認定するとともに、修業年限2年以上の学科については専門士の称号を授与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
収支計算書又は損益計算書	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
財産目録	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
事業報告書	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
監事による監査報告（書）	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	経営情報科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	1 2 4 単位	46	103	25		
			1 7 3 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
3 0 人		9 人	0 人	4 人	6 人	1 0 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。 〔大学併修コース〕専門学校と大学（北海道情報大学通信教育部）との同時履修
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準

(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 情報通信業、I T企業、小売業、サービス業、他			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、Oracle 認定 Java プログラマ、Java プログラミング能力認定試験、日商簿記検定、日商リテールマーケティング(販売士)検定等			
(備考)（任意記載事項） [大学併修コース] 専門学校と大学（北海道情報大学通信教育部）との同時履修			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 0 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報デザイン科 先端 I T コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	1 2 4 単位	76	72	32		
			1 8 0 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
4 0 人		4 人	0 人	6 人	1 0 人	1 6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。 〔大学併修コース〕専門学校と大学（開志創造大学通信教育課程）との同時履修
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)

(目指す主な就職、業界等) 情報通信業、ＩＴ企業、小売業、サービス業、製造業、他
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ファイナンシャル・プランニング技能士、日商簿記検定、日商リテールマーケティング(販売士)検定、情報処理技術者能力認定試験、等
(備考)（任意記載事項） [大学併修コース] 専門学校と大学（開志創造大学通信教育課程）との同時履修 ２０２６年度新設のため、卒業生はまだいない。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
０人	０人	０％
(中途退学の主な理由) ２０２６年度新設のため、中途退学者なし。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報デザイン科 ビジネス I T コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	1 2 4 単位	76	72	32		
			1 8 0 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
4 0 人		1 人	0 人	6 人	1 0 人	1 6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。 [大学併修コース] 専門学校と大学（開志創造大学通信教育課程）との同時履修
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。

学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(目指す主な就職、業界等) 情報通信業、I T 企業、小売業、サービス業、製造業、他			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ファイナンシャル・プランニング技能士、日商簿記検定、日商リテールマーケティング(販売士)検定、情報処理技術者能力認定試験、等			
(備考)（任意記載事項） [大学併修コース] 専門学校と大学（開志創造大学通信教育課程）との同時履修 2026年度新設のため、卒業生はまだいない。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由) 2026年度新設のため、中途退学者なし。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		専門課程	高度情報システム科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	9 6 単位	45	50	22		
			1 1 7 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
3 0 人		1 人	0 人		4 人	7 人	1 1 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（目指す主な就職、業界等） 情報通信業、ネットワーク・インフラ関連企業、小売業、情報処理サービス業、他			

(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。
(主な学修成果（資格・検定等）) 情報処理安全確保支援士試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、G検定、 Java プログラミング能力認定試験、LinuC(Linux 技術者認定試験)、等
(備考) (任意記載事項) 2026年度新設のため、卒業生はまだいない。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 2026年度新設のため、中途退学者なし。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	6 2 単位	35	36	21		
			9 2 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
6 0 人		5 3 人	2 人	4 人	7 人	1 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	6人 (23.1%)	18人 (69.2%)	2人 (7.7%)
(主な就職、業界等) 情報通信業、IT企業、情報処理サービス業、小売業等、他			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、ITパスポート試験、Oracle 認定 Java プログラマ、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	4人	7.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更（就職・進学）、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	[2026年度入学生から] 医療事務・美容ビジネス科 [2025年度入学生まで] 医療福祉ビジネス科	○	

修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	6 2 単位 (1, 180 時間)	28 (718 時間)	42 (1184 時間)	16 (360 時間)		
			8 6 単位(2, 262 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
4 0 人		2 0 人	0 人		2 人	7 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1 3 人 (100%)	0 人 (0%)	1 3 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院・医院・クリニック、調剤薬局等 ≪2026 年度生以降の目指す主な就職、業界等≫ 病院・医院・クリニック、調剤薬局、エステ・美容サロン、サービス業、小売業等			

(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。
(主な学修成果（資格・検定等）) 医師事務作業補助技能認定試験、医科医療事務管理士技能認定試験、調剤事務管理士技能認定試験、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定、登録販売者等 《2026年度生以降の追加資格・検定等》 化粧品検定、ネイル系技能認定試験、色彩技能パーソナルカラー検定等
(備考)（任意記載事項） 2026年度入学生より「医療事務・美容ビジネス科」に科名を変更。在校生の2年生は科名の変更はなし。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更（進学）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	総合ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	6 2 単位	45	77	9		
			1 3 1 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
4 5 人		3 6 人	3 人	2 人	6 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法

(概要) 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	1人 (6.7%)	14人 (93.3%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 税理士事務所、サービス業、卸売・小売業、農業保険業、製造業、他			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファイナンシャル・プランニング技能士、日商簿記検定、全経簿記能力検定、建設業経理士、ビジネス能力検定、日商リテールマーケティング(販売士)、サービス接客検定、色彩検定、登録販売者、オフィス系資格 (Word/Excel/PowerPoint) 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ペットビジネス科 トリマーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	6 2 単位	30	15	50		
			9 5 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 0 人		1 6 人	0 人	5 人	8 人	1 3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。	
学修支援等	
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)

(主な就職、業界等) トリマー、ペットサロン、ペットショップ等
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。
(主な学修成果（資格・検定等）) トリマーライセンス(NAVA)、メディカルトリマー、愛玩動物飼養管理士、NAVA ペット栄養士、JPMA ペットマッサージ・セラピスト、PYIA ペット薬膳管理士、ペットセーバー等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	愛玩動物看護科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	9 6 単位	45	26	35		
			1 0 6 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
9 0 人		4 6 人	0 人	3 人	1 9 人		2 2 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。 なお、本科は2022年に愛玩動物看護師養成所として指定を受けており、法令に基づく指定教育課程に沿って年間授業計画を編成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。

学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 動物医療分野、動物福祉分野、ペットサービス分野、動物関連産業分野、等			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物看護師[国家資格]、メディカルトリマー、愛玩動物飼養管理士、NAVA ペット管理栄養士、NAVA トリマーライセンス、JPMA ペットマッサージ・セラピスト、APRIA 認定プラクティショナー(リハビリ)、他			
(備考)（任意記載事項） ※2022 年[国家資格]愛玩動物看護師養成所の指定を受ける			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

て、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医科医療事務管理士、医療事務技能審査試験、日商簿記検定、全経簿記能力検定、ビジネス能力検定、基本情報技術者、ITパスポート、トリマーライセンス、愛玩動物飼養管理士、等			
（備考）（任意記載事項） ※当初在学者数より卒業生数の人数が多いのは、年度途中で転科者がいたため ※2026年度生より「ビジネス専攻科」から科名変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %

(中途退学の主な理由)

中途退学者無し

(中退防止・中退者支援のための取組)

個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
経営情報科	120,000 円	380,000 円	310,700 円	その他の内訳： ◆施設設備費・維持費 ◆補助活動費
経営情報科4年生		380,000 円	281,600 円	
情報デザイン科 先端ITコース1年生	120,000 円	380,000 円	385,871 円	
情報デザイン科 ビジネスITコース1年生	120,000 円	380,000 円	385,871 円	
高度情報システム科1年生	120,000 円	480,000 円	451,415 円	
情報システム科 1年生	120,000 円	480,000 円	451,415 円	
情報システム科 2年生		480,000 円	358,262 円	
医療事務・美容ビジネス科 1年生	120,000 円	480,000 円	527,450 円	
医療福祉ビジネス科 2年生		480,000 円	419,770 円	
総合ビジネス科 1年生	120,000 円	480,000 円	451,895 円	
総合ビジネス科 2年生		480,000 円	417,483 円	
キャリアデザイン科	60,000 円	480,000 円	454,735 円	
ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	120,000 円	480,000 円	1,058,771 円	その他の内訳： ◆施設設備費・維持費 ◆補助活動費 ◆実習費 ◆器具一式※ ◆ユニフォーム※ ※1年生のみ
ペットビジネス科 トリマーコース 2年生		460,000 円	697,573 円	
愛玩動物看護科 1年生	120,000 円	480,000 円	1,002,435 円	
愛玩動物看護科 2年生		480,000 円	670,470 円	
愛玩動物看護科 2年生		460,000 円	678,670 円	
修学支援（任意記載事項）				
・入学金半額、全額免除制度 入学希望者の父母・兄弟姉妹が、本校および秋田社会福祉専門学校(旧学校名：秋田福祉専門学校／秋田保育福祉専門学校)、TOKIファッション工科専門学校の在学生または卒業生である場合は、本校の入学金を半額免除し、本人の場合は入学金全額免除 ・学校独自の奨学金、授業料減免制度 奨学生A合格者1年次200,000円授業料免除、奨学生B合格者1年次100,000円授業料免除 ・AO入学制度 内定合格後、正式出願時の入学選考料(10,000円)免除、入学金一部(30,000円)免除 ・大学入学共通テスト受験者特典制度 入学選考料(10,000円)免除、入学金(60,000円～120,000円)全額免除 ・就職からの進路変更サポート制度 入学選考料(10,000円)免除、入学金(60,000円～120,000円)全額免除				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己評価結果の項目について評価を行う。次年度に向けた重点目標を設定し、全職員にて共通の認識をもち、校長を中心に80%以下の評価について特に留意して改善策を検討する。年度ごと改善に向け取り組んでいく。学校関係者評価委員会（年1回）を設置して客観的な点検及び評価を行い、教育体制の強化を図っていくこととする。		
主な評価項目：教育理念・目的、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ・募集など。		
評価委員会の構成：定数／4名以上、選出区分／企業等役職員や業界団体関係者、卒業生		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
日本薬剤師連盟	2026年4月1日 ～ 2027年3月31日	関係業界団体
一般社団法人情報通信設備協会 東北地方本部	2026年4月1日 ～ 2027年3月31日	関係業界団体
ラップ東京株式会社	2026年4月1日 ～ 2027年3月31日	企業等役職員
わんわんサロン わんまる。	2026年4月1日 ～ 2027年3月31日	企業等役職員
株式会社南部医理科	2026年4月1日 ～ 2027年3月31日	卒業生
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/		
(備考)		
第三者評価未実施のため、学校関係者評価を記載する		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/
--